

アーカンソー大学交換留学レポート

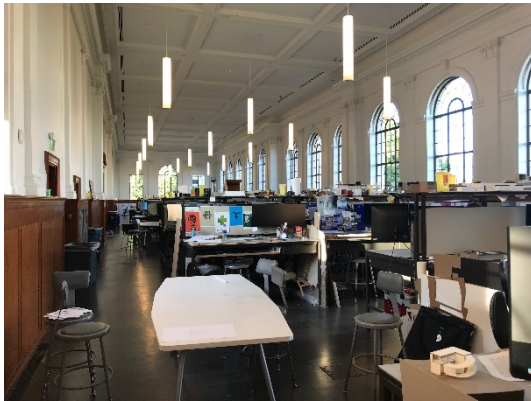
総合理工学部建築生産設計工学科

井澤 亨

8月中旬にアーカンソーに到着してから、もうじき2ヵ月になります。今回のレポートでは日常の生活や授業の様子などを報告していきたいと思います。

日常生活について

僕は専門の建築の授業を中心に履修していることもあり、授業が始まってからは授業と食事、睡眠の時間以外は基本的には建築設計の授業で使用しているスタジオでほとんどの時間を過ごしています。スタジオの授業では生徒一人一人に作業スペースやモニターなどが支給されており、そこで図面を書いたり、模型を作ったりなどといった作業をしています。学生証があれば24時間建物に入れるため、多くの学生は朝から夜中までスタジオで作業しています。自分のスペースとして使えて便利のため、スタジオの課題に限らず、他の授業の勉強もここで行っています。スタジオの写真を下に載せておきます。



授業について

今学期では建築の授業2つと英語の授業2つの計4つの授業を履修しています。英語の授業では主にスピーキングとリスニングを鍛えています。留学生向けの授業なため、授業の難易度はそこまで高くはありませんが、出身国によって発音やアクセントに癖があり、様々な英語を聞くことができるのでとても勉強になります。また相手も英語が完ぺきではないので、ネイティブと話すよりも難易度が高いかもしれません。今期の授業で一番ウエイトを占めているのは上記でも紹介した、スタジオの授業です。月水金の週3回、1回につき約4時間の授業なため、課題と授業の繰り返しで休む暇がほとんどありません。いいアイデアが思い浮かばずに頭を悩ませることもありますが、時間をかけた分だけ良いものが生まれるので、完成した時の達成感は非常に大きいです。